

令和4年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	健康部健康課
施設名称	29	東京都台東区立台東病院	指定管理者	公益社団法人地域医療振興協会
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H31.4.1 ~ R11.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 区民の健康保持に必要な医療を提供するため。
(2)	[所在地] 台東区千束3-20-5 [規模] 延床面積17,328㎡（うち8,046.01㎡は老人保健施設）、鉄筋コンクリート造 病床数120床（一般病床40床、療養病床80床（うち回復期リハ病床40床））
(3)	[委託事業] ①医療の提供に関する事②病院の施設及び設備の維持管理に関する事③病院の利用に係る料金の徴収、減免及び還付に関する事ほか [自主事業] 居宅介護支援事業
(4)	[利用者] 医療が必要な方 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] ○入院・初期救急 365日24時間 ○外来受付 日曜日、祝日、12/29～1/3以外（月～金曜日は8:30～11:30及び13:30～16:00、土曜日は8:30～11:30）
(6)	[人員体制] 185.5名 (内 訳) 医師18.6（常勤11.5、非常勤7.1）、薬剤師4.5、放射線技師4、臨床検査技師4、管理栄養士2、社会福祉士6、理学療法士15、作業療法士14、言語聴覚士2、視能訓練士1、看護職員84.8（常勤73、非常勤11.8）、介護職員6、事務24.1 (前年増減) 医師0.8減（非常勤0.8減）、薬剤師1減、臨床検査技師1増、社会福祉士3増、理学療法士1減、作業療法士1増、看護職員14.8減（常勤12減、非常勤2.8減）、事務2.9増

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	18,700,000	18,700,000	18,700,000	18,700,000
	利用料金収入	2,079,811,567	1,933,295,156	2,076,883,288	2,114,418,482
	その他収入（売店業務（R2.9まで）、補助金等）	90,585,122	88,318,317	95,173,047	194,803,595
	計	2,189,096,689	2,040,313,473	2,190,756,335	2,327,922,077
支出	人件費	1,581,296,708	1,437,216,701	1,477,162,772	1,387,407,175
	光熱水費	46,330,003	40,654,127	45,117,473	44,875,959
	維持管理費（委託料・賃借料）	172,005,154	214,306,403	167,880,092	244,152,934
	修繕費	15,404,109	11,554,715	11,483,417	10,064,828
	事業費	451,565,320	442,782,733	461,902,460	473,477,997
	その他支出（売店等事業費用（R2.9まで）、患者外給食委託費等）	53,651,659	36,142,751	58,403,431	19,014,815
	計	2,320,252,953	2,182,657,430	2,221,949,645	2,178,993,708
収支			-142,343,957		148,928,369

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
一般病床延患者数	人	13,140	12,938	11,195	11,398
療養病床延患者数	人	13,500	13,494	12,716	12,666

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
病床利用率	%	92.5	90.8	82.1	83.2
1日あたり外来患者数	人	260	252.4	218.5	218.8

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
収支改善のために効率的な運営が求められていたが、収支を黒字化できた。その要因は新型コロナウイルス感染症対応による補助金等一時的な収益によるものであり、費用についても感染対策等に伴い令和2年度よりも増加している。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	マニュアルの整備や研修の実施により、法令等の遵守がなされている。各種計画書・報告書を作成・提出し、労働環境にかかる就業規則を作成する等、適正な施設管理・運営がなされている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	新型コロナウイルス感染症の影響である受診控え、紹介件数の減、ワクチン接種実施のための外来枠の減等により、患者実績が低迷したが、施設基準の取得や改定等により事業を適切に実施し、主に高齢者の慢性期医療を担う拠点病院としての機能を果たしている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	建物保守、清掃・衛生管理は専門業者と連携し、適切に行われており、良好な環境が維持されている。修繕についても、日常的な点検を行い迅速に対応している。新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてマスクや手指消毒関連の備品を計画的に管理している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	令和2年度に続き、患者満足度調査を実施しておらず、今後実施が求められる。しかし、意見箱にいただいた区民の要望・意見を取り入れ、面会対応の工夫等により、満足度向上に取り組んだ。また、苦情対応マニュアルを作成し、適切かつ迅速な対応を行っている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	収支は黒字となったが、その主な要因は新型コロナウイルス感染症対応に係る補助金等一時的な収益によるものである。今後は、そのような収益に頼らない収支の黒字化が求められる。また、感染防止対策等により費用が増加しているため、費用の削減も必要である。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (91 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>依然として患者実績は低迷したが、適正な施設運営のための体制整備が行われ、全体として良好な運営が行われている。今後、空調機器の改修をはじめ、電子カルテシステムの更新費用等が見込まれるため、効率的な運営に取り組む必要がある。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>令和2年度に続き満足度調査を実施していないため、今後実施する必要がある。また、新型コロナウイルスの影響である受診控え等による患者実績の低迷から、収支目標を達成できなかったため、さらなる効率的な運営に取り組む必要がある。</p>